



# 鋼矢板用水膨張性止水材「HK-747」

ビノンハイドロタイトHK-747は、「水で水を制する」画期的な止水材です。

ビノンハイドロタイトHK-747は、海・河川の護岸工事や締切り工事、共同溝工事や橋梁下部工事における土留め止水壁などに、広く用いられている鋼矢板用水膨張性弾性シール材です。

ビノンハイドロタイトHK-747の優れた止水性能（水膨張圧）により、鋼矢板の爪部からの漏水が起因する地盤陥没の問題、排水処理のポンプ設置費等の経済性の問題が、大幅に軽減されます。

## 特 長

1. 水・海水に浸漬（接触）することにより膨張し、間隙を防ぎます。
2. 吸水膨張により膨張圧が発生し、良好な止水効果が期待出来ます。(体積膨張倍率：約5倍/精製水24時間浸漬後)
3. 硬化後は、機械的強度に優れたゴム弾性を有します。
4. キャスティングのため、塗布作業が簡単です。
5. 鋼矢板との接着性に優れているため、施工時の剥がれ防止に効果を発揮します。
6. ウレタン系水膨張性止水材で、危険物第4種第3石油類（危険等級Ⅲ）です。
7. 東京都食品衛生協会の水道法水質基準に適合しています。

## 物 性

- ① 比 重：浮秤法
- ② 硬 さ：JIS K 6253 準拠  
硬化（23℃×7日）後試験実施
- ③ 接 着 力：試料を冷間圧延鋼板間に塗布（挟込）  
硬化（23℃×7日）後引張強さ試験実施
- ④ 引張強さ：JIS K 6251 準拠  
（モジュラス）硬化（23℃×7日）後試験実施  
t=2mm 3号ダンベル
- ⑤ 引裂強さ：JIS K 6252 準拠  
硬化（23℃×7日）後試験実施  
t=2mm B号ダンベル

試 験 項 目		単 位	試 験 結 果
比 重		—	1.09
硬 さ		—	A29
接 着 力		MPa	0.38
引 張 り 強 さ	100%モジュラス	MPa	0.47
	300%モジュラス		0.76
	500%モジュラス		1.13
引 裂 強 さ		N/mm	10.6

※試験結果は測定値であり、製品の性能を絶対的に保証するものではありません。



## 止水性能

### 鋼矢板爪部の止水性評価

#### ■ 試験条件

- ① 使用鋼矢板：ⅡA型鋼矢板
- ② 塗布方法：キャストイング法
- ③ 塗布量：0.15kg/m相当（両爪合計）

#### ■ 試験結果

継手の間嵌合状態	水圧試験結果
中立～引張り	注水1日後に0.5MPa止水
圧縮	注水5日後に0.5MPa止水



## 施工手順

- 清掃**
- ① 鋼矢板爪部中の錆や泥などをエアージェット等にて十分に除去・清掃してください。
  - ② 鋼矢板爪部が濡れている場合はバーナー等にて強制乾燥させてください。
  - ③ 溶剤等にて仕上げ、乾燥させてください。
- 施工**
- ① ビノンハイドロタイトHK-747は使用前に、必ず攪拌させてください。
  - ② 小容器等に小分けして、鋼矢板爪部に流し込んでください。（キャストイング）
  - ③ 流し込む量は75g/m（両爪合計150g/m）を目安としてください。
- 養生**
- ① 施工後は硬化迄十分な養生時間を確保してください。（24時間以上）
  - ② 養生中及び養生後は雨水等を避ける為、防水シート等で必ず覆ってください。
  - ③ 硬化養生後、鋼矢板を打設してください。

#### 施工上の注意事項

※流し込む量及び養生時間等は、施工条件により異なる場合があります。

※均一に流し込むために、鋼矢板を水平に設置してください。

※屋外作業時は雨天等の対策として、作業用テント等を用意してください。

※作業後、製品の入った缶は密封し雨水等を避け冷暗所に保管してください。

※鋼矢板からの除去作業は、水膨張している状態で行ってください。状況によっては溶剤を併用してください。

※HK-747の容量は15kg/缶となります。

#### ● 取り扱い上の注意事項

- ① 本商品は土木建築分野に使用する材料であるため、他の用途には使用しないでください。
- ② 各製品の御使用に関して不明な点は必ず弊社営業部宛にお問い合わせの上、御使用ください。
- ③ 本商品の誤った御使用による障害・損害についてはその責任を負いかねますので御注意ください。
- ④ 御使用後の切り屑等の廃棄物は、産業廃棄物業者に委託して廃棄をしてください。
- ⑤ 本商品の誤って食べたり、目に入った場合にはすぐに吐き出すか洗浄して病院で手当を受けてください。

## シーアイ化成株式会社

#### 本社及び関連事業所

本社	〒104-8321 東京都中央区京橋1丁目18番1号（八重洲宝町ビル）	TEL. (03) 3535-4565 (代)	FAX. (03) 3535-4542
栃木工場	〒321-3426 栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606番地（赤羽工業団地）	TEL. (0285) 68-2111 (代)	FAX. (0285) 68-0484
研究所	〒362-0034 埼玉県上尾市愛宕3丁目1番22号	TEL. (048) 775-5511 (代)	FAX. (048) 774-9944
東京土木産業資材営業部	TEL. (03) 3535-4583 (直)	FAX. (03) 3535-4542	仙台支店 TEL. (022) 221-1488 (代) FAX. (022) 262-0249
大阪支店	TEL. (06) 6341-5136 (直)	FAX. (06) 6341-5709	札幌支店 TEL. (011) 281-5611 (代) FAX. (011) 221-2296
名古屋支店	TEL. (052) 204-1393 (直)	FAX. (052) 204-0706	広島支店 TEL. (082) 247-8383 (代) FAX. (082) 247-8144
福岡支店	TEL. (092) 271-7211 (代)	FAX. (092) 271-0175	